

# 校庭芝生化説明会

H22.3.13(土) 10:00~11:20 体育館

地域や保護者の関係者等 22名の参加

内容	1 あいさつ	校長	
	2 ビデオ視聴		(報道ステーションから)
	3 説明	教頭 保健主事	(別紙プレゼンによる)
	4 質疑応答	下記のとおり	
		P T A会長より「芝生の会」について説明	
	6 あいさつ	校長	

## 質疑応答について 要点・概略のみ掲載

司会 保健主事

質問について

芝生化することについて、P T A理事会での説明があったぐらいで、保護者等との議論が十分尽くされていないのではないか？一方的に決められており、ゆっくりと時間をかけて話し合うべきではないか？

<校長> P T Aで取り上げられた時点では、課題も多く、実現に向けてのハードルは高かった。しかし、このことがあったので、市教委には、P T Aにおいて校庭芝生化の動きがあることを伝え、相談させていただいていた。このような状況で、1月になり、広島県の都市緑化施策として校庭芝生化事業が県内の各市町に通知され、広島市においても、全校に公募が行われた。本校も、その内容を精査し、教育活動さらに地域活動において、大きなメリットがあること、また、維持管理についてP T Aや地域の方々からもご協力を得ることが可能であることをふまえ、校長として判断し立候補させていただいた。市教委においては、本校が、以前からP T Aの意向を踏まえながら相談させていただいていたこと、P T Aを中心に地域を巻き込んだ活動が可能であることを考慮していただき、広島市のモデル事業として推薦していただくこととなった。<決定はしていない。>

その時点から、市教委と相談し、具体的な事業計画の検討を行い、同時進行で説明会を開くことの段取りを始めた。その時点でできることは十分させていただいたつもりではあるが、ご指摘のとおり、果たして十分な説明やご意見をいただくことができたかどうかは分からない。今後も、説明責任を果たし、情報公開を進めていきたい。さらに、子どもたちに、そして教育活動に、多くの成果を残しご理解いただけるように努力したい。

校長として、この機会を、チャンスと捉え、校庭芝生化のメリットを活かした教育活動を行いたい。

その予算は、来年度以降も計上されるのか？

<校長> 今回の事業は、平成22年度の単年度の事業であり、同じ事業での予算計上はない。

再来年度以降のランニングコストについて

<校長> 今回の事業は、モデル事業であり、本校の取組による成果等を勘案し、今後拡げていくことが、その目的の1つとなっている。そのためには、芝生を継続して維持管理していくことも当然の責務である。学校の予算の中で、肥料等のランニングコストを捻出するとともに、市に対しても何らかの支援をしていただけるようお願いしていきたい。なお、将来的に、新たなコミュニティー活動の可能性等をふまえながら、地域で、この芝生を大切にしようという気運の盛り上がりの中で、ご支援をいただけるようになると大変ありがたい。

線引きの仕方やマーカーなどの使用について

<教頭> 現在使用のものは、重いので、芝生にかからずに下に落ちてしまう。珪藻

土を使用することで、芝生そのものに付着し、ラインが分かるようになる。また、マーカー等も現在と同じように設置してもらって良い。今後とも、より良い方法について検討し、お伝えしていきたい。

滑りやすくなるのではないか？

<教頭> 確かに現状より滑りやすくなると思われるが、滑ることによるケガの可能性は大変低くなる。全体としてケガは少なくなると考えている。

P T A会長様より

P T Aとして、この芝生を守り維持管理していく組織を立ち上げたいと考えている。